



ISSで行われた船長の交代式の様子（手前左がロシアのShkaplerov飛行士、手前右がアメリカの Marshburn 飛行士） ©NASA

# 国際協力と平和のシンボル、 国際宇宙ステーション！

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が開始されおよそ1か月が経ちました。国際社会は「重大な国際法違反」とロシアを厳しく非難し、軍事侵攻を停止するよう求めています。このような世界情勢の中で、アメリカ、ロシア、日本、カナダ、欧州各国（イギリス、イタリア、オランダ、スイス、スウェーデン、スペイン、デンマーク、ドイツ、ノルウェー、フランス、ベルギー）の15か国は協力して国際宇宙ステーション（ISS）の運用を続けています。

3月30日午後8時28分（日本時間）、ISSに滞在していたアメリカとロシアの宇宙飛行士3人がロシアのソユーズMS19宇宙船に乗って地上へ帰還しました。帰還前にISSで行われた船長の交代式で、Shkaplerov飛行士（ロシア）は「地上では問題があるが、軌道上（ISS）の我々はワン・クルーだ。ISSは友情と協力の象徴だ。」と述べ、後任のMarshburn飛行士（アメリカ）に船長を引き継ぎました。

2022年秋以降には、若田光一宇宙飛行士のISS長期滞在が予定されています。ISSが世界の宇宙開発を大きく前進させるための重要な施設であると同時に、国際協力と平和のシンボルであり続けることを願います。

船長の交代式の動画（英語）は  
YouTube「NASA Video」でご覧いただけます！

